



2/22 平成十八年二月定例会 代表質問始まる

二月二十二日から、県議会(外間盛善議長)二月定例会の代表質問が行われた。  
 この中で稲嶺知事は、具志孝助氏の質問に対し、普天間基地の移設先として日米が合意したキャンブシユワブ沿岸案については、容認できないとし、今後は島袋名護市長と連携して対応していくとの考えを示した。  
 二月定例会では、十八年度の一般



会計予算案(五千九百五十七億九千九百万円)や条例案、議決案など七十四議案について審議する。会期は三月二十九日まで。

3/6 今年の新作! かりゆしウェアを知事に寄贈 世界のウチナーンチュ大会成功に向けて

三月六日、今年十月に行われる「第四回世界のウチナーンチュ大会」の成功に向けて、県ホテル旅館生活衛生同業組合(宮里一郎理事長)が、稲嶺知事にかりゆしウェアを寄贈した。  
 贈られたのは、今年の新作かりゆしウェア三十九柄など五十着。県外でも気軽に着られるデザインが多く、白地に沖縄の特産品をアレンジした作品が揃っている。



新作かりゆしウェアが勢ぞろい

3/7 就職を支援! 稲嶺知事が県キャリアセンターを視察

三月七日、若年者の失業率を改善するための「沖縄県キャリアセンター」を稲嶺知事が視察した。同センターでは、十五歳から三十四歳の若年者を対象に、キャリアコーチング(就職相談)や「履歴書の書き方」「面接の受け方」「ビジ



ネスマナー」等に関するセミナーを実施するなど、若年者の職業観の形成から就職までを一貫して支援する。  
 また、昨年は、四月に「北部プランチ」を名護市に、六月に「中部地区琉球大学プランチ」を西原町にそれぞれ設置し、サービスの範囲を広げた。  
 視察では、知事が担当職員からセンターの活動概要や利用状況などについて説明を受け、就職支援の現場を確認した。

3/8 新しい沖縄担当大使 重家俊範氏が知事へ着任のあいさつ

三月八日、新たに沖縄担当特命全権大使となった重家俊範氏が、着任あいさつのため、県庁を訪れ、稲嶺知事と面談した。  
 この中で、重家氏は「重要な時期なので身が引き締まる思い。軸足を沖縄に置いて負担の軽減などに努力していきたい。米軍に対しては事件・事故防止の徹底を図るよう引き続き求めていく。国際交流についても積極的にお手伝いしたい」と述べた。

稲嶺知事は「(戦後)六十一年の歴史の中で、沖縄は多くの問題を抱えている。特に、普天間移設については、長い歴史の中から問題が難しいところがあると思うが、ぜひ実情を理解していただきたい」と要望した。



沖縄担当特命全権大使 重家俊範氏(写真左)

県政日誌

(二月十六日～三月十三日)

二月	十六日	プロ野球キャンプ地視察(阪神・日本ハム)
	〃	表敬 南城市長 古謝豊春氏
	十七日	表敬 宝くじ・幸運の女神「千葉祐子氏ほか
	二十日	表敬 文部科学省文化庁文化部長 寺脇研氏
	二十一日	JICAボランティア帰国報告 日系社会青年ボランティア帰国隊員 仲本聖子氏、麻生直衛氏
	二十二日	平成十八年二月定例会 代表質問(二月二十四日まで)
	二十七日	平成十八年二月定例会 一般質問(二月二日まで)

三月

一日	離任挨拶 沖縄担当特命全権大使 宮本雄氏
二日	表敬 JICA副理事長 島中篤氏
四日	沖縄科学技術大学院大学フォーラム 面談 防衛施設庁長官 北原敏男氏
六日	平成十八年新作かりゆしウェア贈呈式
七日	第四回沖縄県国民保護協議会 視察 沖縄県キャリアセンター
八日	感謝状贈呈式 感謝状贈呈式 坂口總之輔氏 東京大学理学部人類学教室を中心とするグループ、大山盛弘氏ほか

〃	感謝状贈呈式 坂口總之輔氏
〃	表敬 名桜大学学長 瀬名波榮喜氏
〃	着任挨拶 沖縄担当特命全権大使 重家俊範氏
十日	第四回太平洋・島サミットフレイベント 国際島嶼シンポジウム 表敬 チュニジア共和国特命全権大使 サフランナシ氏
十二日	表敬 外務副大臣 金田勝年氏
十三日	面談 自民党沖縄振興委員会・大学院大学に関する小委員会 委員長 尾身幸次氏 講演会 沖縄科学技術大学院大学設置推進県民会議

お詫び

本誌3月号県政フラッシュに掲載した記事「県保健医療福祉事業団、県水産公社、県建設技術センター、県土地開発公社の四団体の廃止が提言された」は、「県保健医療福祉事業団については廃止を含めあり方検討、県水産公社については解散、県建設技術センターと県土地開発公社については、整理縮小・合理化が提言された」の誤りです。訂正し、お詫びいたします。

沖縄の人口世帯の動き  
 平成18年2月1日現在推計

人口 136万4,165人 ※前月比 624人増

世帯 49万649世帯 ※前月比 660世帯増

